

協議会名称		WEBサイト ※QRコードも可
屋久島町エコツーリズム推進協議会		http://www.town.yakushima.kagoshima.jp
担当者		
所属	観光まちづくり課	
氏名	寺田 清明	SNS（Facebook、Twitter、Instagramなど） ※QRコードも可
メール	shizen@town.yakushima.kagoshima.jp	
電話番号	0997-43-5900	

- ① 第9回特定自然観光資源検討グループ（令和7年1月16日）今後3回開催予定
- ② 第11回エコツーリズム推進全体構想策定部会（令和7年2月4日）
- ③ 屋久島学試験問題作成専門部会（令和7年2月9日）
- ④ ウミガメ保護利用専門部会（令和7年2月18日）
- ⑤ ガイドセミナー（令和7年2月25～27日）時期を12月にずらし開催予定
- ⑥ 屋久島学試験（令和7年2月28日）
- ⑦ ガイド登録認定制度検討部会（令和7年3月5日）以降3回開催し今後2回開催予定
- ⑧ ガイド登録認定制度審査部会（令和7年3月14日）
- ⑨ 日本赤十字救急法基礎講習会（令和7年3月21日）
- ⑩ 屋久島町エコツーリズム推進協議会総会（令和7年5月19日）
- ⑪ 永田いなか浜ウミガメ観察会（令和7年5月10日～7月10日）
- ⑫ 屋久島研究講座（令和7年5月27日）
- ⑬ （ラムサール条約登録20周年事業）補助金贈呈式（令和7年6月18日）
- ⑭ （ラムサール条約登録20周年事業）海岸清掃及びウミガメ観察会（令和7年7月12日）
- ⑮ （ラムサール条約登録20周年事業）記念シンポジウム（令和7年11月8日）

○特定自然観光資源について（①、②、⑩）

屋久島町では現在特定自然観光資源の指定に向けて取り組んでいる。指定検討地は、縄文杉までの登山ルートと日本最大級のウミガメの産卵地である永田浜の2か所になる。屋久島町エコツーリズム推進協議会の下部に、エコツーリズム全体構想策定部会と特定自然観光資源検討グループを作成し、話し合いを進めている。

会議の様子

屋久島町エコツーリズム推進協議会

- ・エコツーリズム推進全体構想の作成及び変更を行う。
- ・エコツーリズムの推進に係る連絡調整や全体構想の作成及び変更の総合的な協議の場である。

エコツーリズム全体構想策定部会

屋久島町が事務局を担う。エコツーリズム全体構想案の検討を行う。

特定自然観光資源検討グループ

特定自然観光資源の検討及び自然観光資源のその他の利用方法の検討を行っていく。



○屋久島学について（⑥）

屋久島学とは、ガイド活動に求められる屋久島に関する専門的かつ総合的な知識（気象、文化、歴史、自然、法律等）の正確な根拠をまとめている。また、屋久島に住む住民と研究者が「共に学び合い、島の現実を多様な学問分野と結びつけ、知識や情報を地域社会で具体的な形で活かしていくこと」を目指す学びと実践を行っている。現在は認定ガイドを取得する際の条件である「屋久島学試験」の実施や屋久島学ソサエティという団体により学問を社会経済に結び付ける活動を行いながら、ガイドや町民向けの講演を開催している。



屋久島公認ガイド読本「屋久島学」

屋久島・口永良部島に関する様々な事柄について記載されている。「屋久島学試験」の問題はこの本から出題される。近く改定を行う予定としている。

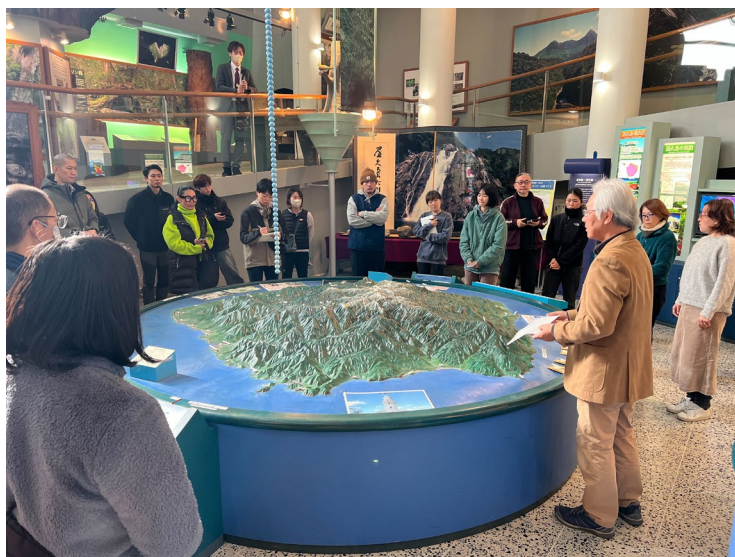


屋久島学ソサエティ

屋久島に関する研究を行う方々が集まり、研究発表や会誌の発行、エクスカッション等を行う。様々な活動を通して、「知のプラットフォーム」を築き、屋久島という地域をより深く理解し、未来へ繋げるための活動を行う。

○エコツアーガイド育成について（⑤、⑫）

屋久島では、利用者に対して、自然観光資源についてのより深い知識と屋久島・口永良部島ならではの体験を提供するとともに、それらを通して「自然と人との共生」を伝えるために、ガイドツアーを積極的に推進している。このことから屋久島町では公認ガイド制度を施行し、屋久島に在籍するエコツアーガイドの質の向上に努めている。



ガイドセミナー

エコツアーガイドに不可欠な基本知識と実践的技術に関する専門的な講習を通じて質の高いエコツアーガイドを養成している。



屋久島研究講座

屋久島をフィールドとしている研究者や屋久島に関する知識を有した識者を講師として、町民やエコツアーガイドを対象に講演を行っている。

○ウミガメ保護について (④、⑪、⑭)



屋久島町エコツーリズム推進協議会の下部組織にウミガメ保護と観光資源としての利用について検討する「ウミガメ保護利用専門部会」を設置している。

「ウミガメ保護利用専門部会」では、保護活動（左写真：ウミガメ産卵巣保護用の柵）はもちろん、以下に記載しているようなウミガメ観察会を実施している。（永田いなか浜に限る）

ワイズユースの考え方を活かしながら、持続可能な活動に取り組んでいる。

令和 7 年はラムサール条約湿地に登録されて20年の節目となる。

今年度は20周年記念イベントを計画し 7 月12日に「いなか浜」において海岸清掃＆うみがめ観察会を実施した。

受付開始後 3 時間で定員50名が満員になり、屋久島島民のウミガメへの関心の高さに驚いた。

登録日の11月 8 日には登録地である永田集落において20周年記念シンポジウムを開催する予定としている。

